

普通期稲作情報 第1号

令和7年6月20日
J A む な か た
北筑前普及指導センター

本年の田植えは6月初旬から始まり、病害虫の目立った発生はなく生育は順調です。
今後は以下の管理作業を行ってください。

1. 水管理

稲の活着後は間断かん水とします。分けつが株当たり18~20本程度確保できたら(6月上旬植えの早植田では田植え後約30日、6月20日植えの普通期では田植え後約25日)中干しを行ってください。

- 中干しの効果** ①土壤のガス抜きと酸素の供給により根の活性が増し、根腐れを防止します。
(特に麦わらすき込みのほ場はガス害に注意)
②無効分けつ抑制と倒伏防止
③土壤が固まるため、収穫直前まで入水でき、籾の充実向上につながります。

中干し開始の目安	1株当たり18~20本程度 (田植え後25~30日程度)
中干しの期間	7日程度行います
中干しの程度	田面に小さな亀裂(小指くらい)が入る程度 生育不足の場合や水持ちの悪い田では、軽めに干しましょう 生育過剰の場合や排水不良の田では、強めに干しましょう
中干し終了後	急に溜め水をすると根を傷めるので、間断かん水か浅水(ひたひた水)管理をしてください

※中干し前に溝切りを行うと、水管理がスムーズに行えます。

2. 病害虫防除

現在のところ、問題となっている病害虫の発生は認められていませんが、今後の発生状況に注意して必要に応じて補正防除を行ってください。

○紋枯病は、高温条件で発生しやすいため、昨年多発したほ場では、**オリブライト 250G**又は、**モンセレンフロアブル**による補正防除を行ってください。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	使用時期
紋枯病	オリブライト250G	250g	出穂10日前まで、 但し収穫45日前まで
	モンセレンフロアブル	1500倍	収穫21日前まで

○いもち病が発生しやすいほ場（昨年多発生したほ場、冷や水が入るほ場、日陰の多いほ場、野菜跡などの窒素が効いて軟弱な生育のほ場等）は発生に注意しましょう。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	散布時期	使用上の注意
いもち病	コラトップ豆つぶ	250g	・葉いもち 初発10日前～初発時 ・穂いもち 出穂30日前～5日前まで	・夢つくし ・元気つくし は、いもち病に弱い ので、葉いもちを発見次第、早急に防除 を行いましょう。
	ノンブラス フロアブル	1000倍	発生初期 (収穫7日前まで)	
	ビーム粉剤 DL	3～4kg	発生初期 (収穫7日前まで)	

3. 除草対策（中後期除草剤） 農薬の登録情報は令和7年6月11日時点

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用量 (10a 当り)	
ノビエ アゼガヤ ササノハ	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後7日～ノビエ4.0葉期まで (但し収穫30日前まで)	1kg	湛水
		移植後25日～ノビエ5.0葉期まで (但し収穫30日前まで)	1.5kg	
	クリンチャーEW	移植後20日～ノビエ6.0葉期まで (但し収穫30日前まで)	薬量 100ml 水量 100ℓ ※展着剤加用	湛水 落水
	トドメMF乳剤	移植後14日～ノビエ7.0葉期まで (但し収穫50日前まで)	薬量 200ml 水量 100ℓ	落水
広葉 ツツグサ	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	移植後15日～収穫45日前まで	薬量 700ml 水量 100ℓ	落水
ノビエ 広葉 ツツグサ	クリンチャーバス ME液剤	移植後15日～ノビエ5.0葉期まで (但し収穫50日前まで)	薬量 1000ml 水量 100ℓ	湛水
	※ロイヤント乳剤	移植後20日～ノビエ5.0葉期まで (但し収穫45日前まで)	薬量 200ml 水量 100ℓ	湛水 落水
	※ノブレクト乳剤	移植後20日～ノビエ5.0葉期まで (但し収穫45日前まで)	薬量 250ml 水量 100ℓ	湛水 落水
	アクシズMX 1キロ粒剤	移植後7日～ノビエ4.0葉期まで (但し収穫45日前まで)	1kg	湛水
	レプラスジャンボ	移植後14日～ノビエ4.0葉期まで (但し収穫60日前まで)	10パック (400g)	湛水

落水処理は、散布の1～2日前に落水し、薬剤が雑草によくかかるように散布し、散布後3日間は水を入れない。

※ただし、ロイヤント乳剤又はノブレクト乳剤を落水状態で散布した場合は3日以内に入水する。